

水稻除草剤

よあけ®フロアブル

シクロピラニル..... 1.0%

種類名／シクロピラニル水和剤
農林水産省登録／第25027号
毒性／普通物*
有効年限／3年
包装／500ml×20

特 長

- 新規有効成分「シュタルク（一般名：シクロピラニル）」含有の1成分初期除草剤です。
- ノビエをはじめ、広葉やカヤツリグサ科等の幅広い雑草に高い効果と速効性を示します。
- 藻類やオモダカ、クログワイ等の多年生難防除雑草も抑えます。
- 代かき後～移植7日前や移植時の早いタイミングで使用可能です。

適用雑草と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	総使用回数*	使用方法	被害防止方法 
移植 水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ ナガエツルノゲイトウ アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植時	500ml	本剤 シクロピラニル剤 1回 2回	田植同時散布機 で施用	使用者 （調製・散布）： 農業用マスク、 不浸透性手袋 長ズボン、 長袖の作業衣
		植代後～ 移植7日前 又は 移植直後～ ノビエ1葉期 但し、 移植後30日 まで			原液湛水散布、 水口施用 又は 無人航空機 による滴下	

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの1葉期までに時期を失ないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に使用するよう
に注意してください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワは1葉期まで、ミズガヤツリ、ヒルムシロ、
オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、セリは再生前、ナガエツルノゲイトウは再生始
期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の使用適期です。また、オモダカ、クログ
ワイ、コウキヤガラ、ナガエツルノゲイトウは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さな
い場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 雑草害をもたらす栽培目的以外のイネの防除に使用する場合は、発生前から発生始期（鞘葉抽出期）に
有効なので、使用適期を失ないように使用してください。また、必要に応じて有効な後処理剤との
組み合わせで使用してください。
- 植代後から移植7日前までに使用する場合は、水田の代かき、均平はていねいに行い、浮遊物のワラ
くずなどのごみはできるだけ取り除いてください。使用後は少なくとも3～4日間は通常の湛水状態
（湛水深3～5cm）を保ち、使用後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 使用に当っては、水尻を止め湛水状態（水深3～5cm）で本剤が水田全面にいきわたるように使用して
ください。本剤使用後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、使用後7日間は落水、かけ流
しはしないでください。なお、水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田

全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。

- 本剤を無人航空機で滴下する場合は「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業および植え付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 除草効果が低下するおそれがあるので、著しい降雨が予想される場合には使用を控えてください。
- 空容器等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬害

- 軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田および砂質土で漏水の大きな水田（減水深2cm/日以上）では、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 本剤は、その殺草特性から、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- 本剤使用後の田面水を他作物に灌水しないでください。

■生活環境動植物への注意

- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■貯蔵上の注意

- 密栓し、直射日光をさけ、なるべく低温な場所に保管してください。

本資料の記載内容は2026年4月8日現在の登録内容に基づいています。